

1. 資産運用の基本

①長期（15年以上かける）

- ・短期で増やそうとするのはギャンブル。増えることもあるが、可能性は低い。
- ・長期(15年以上)で考えるなら、途中で暴落があってもまた復活するので結局はプラスになる。
(世界規模で考えると、人口が増える地域では必ず経済は成長するから)

②分散（対象を絞り込み過ぎない）

- ・市場を完全に予測することはできないから、投資の対象は幅広くしてリスクを分散する。

③積立（毎月コツコツ積み立てる）

- ・市場は変動するが、少しずつ積み立てることで買い付け額を平均化できる。

2. 株式投資の理論

①株はギャンブルか？

株式市場に働く浄化作用: 銘柄の新陳代謝

利益成長できない企業が退出、新たな利益成長企業が参入する。
その結果、市場が長期的に上昇を続けます。

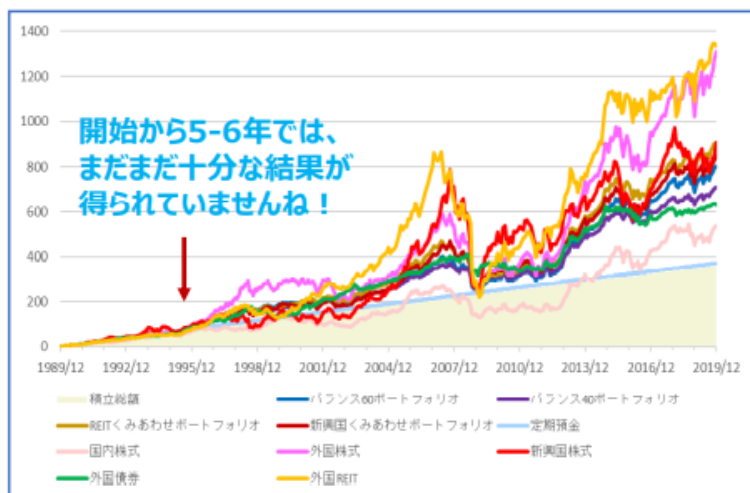


- ・株に投資するということは、その会社の成長を応援すること
- ・株を買くと、その会社は設備投資や人材に投資できて、さらに成長する
- ・上場企業が利益を出して存続する限り、株でリターンが得られるのは当たり前
- ・アメリカの株式市場は、常に新陳代謝している(日本は企業評価が甘い)

- ・世界規模で見ると、必ず成長している国と成長企業がある。

30年の積立で預金を下回るものはナシ

銀行預金以外は満足できる結果に・・・



3. 変額保険とは

①投資信託に保険を加えたものが変額保険

- ・変額保険は、死亡保険と投資信託を合わせたもの、
- ・定期型、有期型(養老保険)、終身型(終身保険)、年金保険型がある
- ・運用がうまくいけば、定額保険よりも受け取る保険金額は多くなり、少なくなるリスクもある。
- ・満期までの死亡保障は、契約時の基本保険金が保証されている
- ・途中解約金は運用実績により変動する。

②メリット

- ・インフレに強い(定額保険では、物価上昇に対応できない)。

③デメリット

- ・わかりにくい(投資の知識や経験がない人は、仕組みがわかりにくい)。
- ・デフレに弱い(運用成績が悪くなると定額保険より保険料が割高になり、損することがある)

④まとめ

- ・投資信託だけの運用と比べると、死亡保障があるので家族への保障が必要なら変額保険は便利。
- ・保険会社によっては三大疾病になると保険料が免除となるものがある。
- ・もし免除になると、保険会社が投信を買い続けてくれる。
- ・保険がついている分、投信だけで運用するよりもコストはかかる。
- ・お金を運用することだけが目的なら、投資商品がよい。
- ・保障が必要、あるいはあったら便利であれば変額保険は価値がある。